



2023 年 D1Grand Prix Rd.1&2 OKUIBUKI 参戦報告書



SHIBATA
RACING TEAM

参戦車両

車両：INFINITI Q60
エンジン：VR38 4100cc 1000hp
タービン：HKS GT2
コンピューター：LINK
ミッション：ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 255/35R19(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR20(Rear)
ホイール：SHIBAHWHEEL 19 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 20 インチ off +12(Rear)
エアロ：SHIBATA
足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

蕎麦切広大

1996 年 3 月 22 日生 (27 歳)
神奈川県出身
身長：165cm
参戦レース：D1GP、Formula Drift Japan

2023 年 D1GP (Rd.1&2 終了時点)
ドライバーズランキング 11 位
単走シリーズランキング 10 位

実績

2018 年 9 月 ドリフトキングダム Rd.6 チャレンジエキスパートクラス 準優勝 D1LIGHTS 出場権獲得
2019 年 3 月 MSC チャレンジ Rd.2 エキスパートクラス 優勝 FORMULA DRIFT JAPAN 出場権獲得
2019 年 D1LIGHTS 年間ランキング 13 位 D1GP 出場権獲得
2020 年 D1GP ドライバーズランキング 18 位 単走シリーズランキング 13 位 シリーズ新人賞受賞
2021 年 D1GP ドライバーズランキング 14 位 単走シリーズランキング 9 位 第 7 戦 単走優勝
2022 年 D1GP ドライバーズランキング 7 位 単走シリーズランキング 2 位



参戦車両

車両：GR86
エンジン：2JZ 3400cc 940hp
タービン：HKS GT2
コンピューター：LINK
ミッション：ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR19(Rear)
ホイール：SHIBAHWHEEL 18 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 19 インチ off +12(Rear)
エアロ：SHIBATA
足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

日比野哲也

1974 年 4 月 10 日生 (49 歳)
愛知県出身
身長：181cm
参戦レース：D1GP、Formula Drift Japan

2023 年 D1GP (Rd.1&2 終了時点)
ドライバーズランキング 8 位
単走シリーズランキング 8 位

実績

2018 年 D1CHINA 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズチャンピオン
2019 年 DCGP(中国) 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズ 2 位
RDS GP(ロシア) 総合シリーズ 3 位
2020 年 D1GP ドライバーズランキング 4 位 単走シリーズランキング 5 位
2021 年 Formula Drift Japan シリーズランキング 3 位



採点資料

D1 独自の機会採点システム DOSS が採点の基準

発足初年度から審判員による主観採点を採用してきた D1 グランプリシリーズだったが、より公平で公正な採点方法を求めて機械採点システムの開発を進めていた。

そして長い開発期間と試験期間を経て 2013 年からシリーズ戦へと導入されたのが、D1 独自の機械採点システムである『D1 オリジナルスコアリングシステム (通称 :DOSS= ドス』だ。DOSS では、走行マシンの車速や角度、そして角度の安定性や振り返しの鋭さなどを数値化して得点化。わずかな車速変化や角度の乱れが特典に影響することもあり、これまでよりも繊細かつスムーズなドライビングが要求されるようになった。そして、DOSS の得点化プログラムは最適化されつつ年々進化していき、2019 年からは追走にも導入されることとなった。先行車は単走とおなじようにハイレベルな走りが要求され、後追いもただ接近すればいいだけでなく、DOSS の得点が出せる走りが要求される。追走でも DOSS が導入され、ここがさらに洗練されていくことで、D1 グランプリシリーズは新たなステージへと進化する。

単走 指定ゾーンの追加で視覚的に走りの良し悪しが判別可能に

単走での採点は、競技区間を振り出しや旋回、振替しといった 4~5 つのセクターに分割し、それぞれの重要度によって第 1 セクターは 30%、第 2 セクターは 20% というようには配分が決定され、すべてのセクターの合計が特典となる。

また、2018 年からはコース内であればどのようなラインを通過しても原点されることはなかったが、2019 年からはコース上に数ヵ所の指定ゾーンが設けられ、ここを通過しなければいけなくなった。

つまり、理想的なラインを通過することが高得点を出すことにつながるのはこれまで通りなものの、指定ゾーンを追加することで視覚的にも良し悪しがわかりやすくなった。なお、指定ゾーンを通過できなかった場合の原点はマイナス 1 点 ~3 点。ほかにも、振り出し時の 2 度降りやドリフトアンダーはマイナス 5 点、コース外走行は 1 輪 ~ 2 輪の場合はマイナス 2 点で、3 輪 ~ 4 輪の場合はマイナス 5 点という原点。J1 ~ J3 区間での円滑さを欠く走行やコース上の設置物への接触なども減点の対象となる。選手たちにとってはこれまで以上に繊細なマシンコントロールが要求されるようになった。



DOSS の導入で後追いはよりレベルの高い走りが求められる

追走では、単走とおなじく車速や角度に安定度といった要素が求められる先行車に対し、後追い車はどれだけ合わせつつ接近できるかが求められる。

単走とおなじ要素が評価項目となるため、これまでも先行車両には DOSS で算出された得点がベースとなっていたが、2019 年シリーズからは後追いにも DOSS の得点がベースとして採用され、これに接近度といった項目を審判員が主観で判断した得点を合計し、それが後追い車の総合得点となる方式となった。

後追い車は、車速や角度に安定度といった要素を揃えつつ接近しなければいけないということは変わらないものの、DOSS が採用されたことによってその基準がよりシビアに。角度のないまま接近すると、接近ポイントは与えられるものの、DOSS 得点が低くなって勝てないし、DOSS 得点を狙って相手から離れて自分のドリフトをしても、接近加点が取れないので勝てない、となる仕組みだ。

後追い車の接近ポイント (コースにより 6~12 点) は、先行車との距離に応じてセクターごとに付与される。また、後追い車が先行車から離れすぎて接近ポイントがまったく得られなかった場合はノーグッドチャレンジ (先行者に接近できていない状態) と判断されることがあり、その減点はマイナス 2 点となるため、つねに攻めることも要求されるようになったのだ。

No.31 蕎麦切 広大

Rd.1 11/12(金) 天候 晴

公式練習日

奥伊吹は去年走ったデータを元に走りを組み立ててより良い走りを練習で組み立てる事ができ、練習の段階では DOSS 点数も 99.6 点という点数が出ていた為単走優勝を目指して予選に挑みます。



Rd.1 11/13(土) 天候 晴

開幕戦

前半セクションはいい感触で走ってましたが後半の 4 セクター辺りでプロペラシャフトトラブルによりドリフトを継続出来ませんでした。そして 2 本目も走れる状態ではなかった為予選得点を入れる事が出来ずに予選敗退となりました。

開幕戦という事でマシンもとてもいい状態でしたし練習の段階でいい点数も出てたので自信持って走りましたがうまく噛み合いませんでした。翌日の Rd.2 に向けてマシンの修復作業をチーム一丸となり頑張りました。感触も良かったので翌日に備えます



Rd.2 11/14(日) 天候 雨

デュアルファイナルである Rd2 に向けてマシン修復を懸命に行なって頂いたお陰でマシンは好調になり走れる事を感謝しながら結果で恩返しができる様にキッチリ練習に臨みます。そして路面コンディションも Rd1 はドライ Rd2 はウェットとなりましたがウェット路面でもシバタイヤはとて面白いグリップ感でマシン特性もウェットも良く DOSS 点もいい点数が出てましたので予選に挑みます

単走 1 本目

少しミスはありましたが練習に近い走りが出来て点数は 93.5 点を出す事が出来ました。

GROUP B		31		K. SOBAGIRI		GROUP RANK
1st RUN		2nd RUN				1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	77.22 km/h		
			18.72	93.5		
			28.34			
			18.45			
			19.00			
			9.02			
PENALTY						

単走 2 本目

点数を更に伸ばしていこうと攻めていきましたが少し角度をつけ過ぎてしまいギクシャクしてしまった為点数は 93.1 点でした。予選結果は 3 位通過となりました。

GROUP B		31		K. SOBAGIRI		GROUP RANK
1st RUN		2nd RUN				1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	76.16 km/h		
			18.40	93.1		
			29.16			
			17.69			
			18.50			
			9.34			
PENALTY						

本来でしたら予選が終わってから追走競技が始まるのですが天候が悪く風も非常に強く会場に来ている全ての皆様の身の安全を保証する事が非常に困難な為単走が終わった時点で競技終了となりました。よって最終リザルトは単走予選の順位で最終順位が決まる事となり最終順位は 3 位となりました。

Rd1 はトラブルにより走ることが出来ませんでした。チーム一丸となって懸命な作業をして頂いたお陰で Rd2 では表彰台に乗る事が出来ました。応援してくださって誠にありがとうございました。マシンの感触はドライもウェットも非常にいい感触でしたので次戦は得意意識もある筑波ラウンドとなります優勝目指してチーム一丸となり全力で走ります。引き続き応援のほどよろしくお願いします。



No.18 日比野哲也

Rd.1 11/11(木) 天候 晴

任意練習日

1日で8本の練習ができました。
ファイナルギアの変更や、コースのライン取りなどを試しました。
マシンの動きが思い通りにならない事で、不安が残りました。



Rd.1 11/12(金) 天候 晴

公式練習日

練習一本目の進入で角度を付けられず、リアを壁に当ててしまいました。足回りに異常は無いですが、外装を傷つけてしまいました。チームのみなさんメカニックさんに、申し訳ない気持ちでした。その後から2回の練習がありましたが、やはり思い通りにマシンコントロールがでな状態でした。開幕戦までに原因を見つけないと、追走に残れないプレッシャーがありました。

Rd.1 11/13(土) 天候 晴

開幕戦

朝イチ練習でも上手く走れませんでしたので、イロイロ考えた結果大幅なアライメント変更を決めました。
そして単走本番・・・ウォーミングアップでとても乗りやすくなったマシンになったことを確認しました。本番で良い点数出せそうでしたが、突然のパワステトラブル！リタイヤになりました!!その日のうちに、修理できました。開幕戦までに原因を見つけないと、追走に残れないプレッシャーがありました。

Rd.2 11/14(日) 天候 雨

雨でのGR86は初めてなので、少し緊張感ありながらの練習は良い感触でした。

単走1本目

単走本番一本目で思った通りに走れて、93.7が出ました。
その時点では、1位でした。

GROUP D				18 T. HIBINO		GROUP RANK 1
2nd RUN				73.85 km/h		
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	93.7		
			18.08			
			29.67			
			17.46			
			19.49			
			9.03			
PENALTY						

単走2本目

追走は確定でしたので2本目をもっと上の点数を目指してスタートしたら・・・
ミッションが壊れてしまいました。
結果、単走2位

その後、天候が悪くなっていき中止となりました。
単走順位が総合順位となり、準優勝でフィニッシュしました。

この奥伊吹戦で、GR86 がとても良いマシンになりました。
今後のシリーズでは、常に表彰台を狙えると思います。

チーム D-MAX を越える様な強いチームに進化したいと思います。



2023年D1グランプリシリーズランキング

2023年ドライバーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team
1	70	横井 昌志	D-MAX RACING TEAM
2	46	末永 正雄	D-MAX RACING TEAM
3	77	松山 北斗	+LenoRacing watanabe
4	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR
5	2	田中 省己	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D
6	29	齊藤 悠史	CAR SHOP GLITTER × Carlife ORANGE × Next Dream
7	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT
8	18	日比野 哲也	SHIBATIRE RACING
9	51	岩井 照宣	RS Watanabe SPEED MASTER
10	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-style
11	31	蕎麦切 広大	SHIBATIRE RACING
12	11	村上 満	Repair Create × 326power
13	52	北岡 裕輔	TEAM MORI
14	45	Chanatpon Kerdpiam	GOODRIDE × NEXZTER
15	15	植尾 勝浩	VALINO VAZESTRA
16	87	齋藤 太吾	FAT FIVE RACING

2023年単走シリーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team
1	70	横井 昌志	D-MAX RACING TEAM
2	46	末永 正雄	D-MAX RACING TEAM
3	29	齊藤 悠史	CAR SHOP GLITTER × Carlife ORANGE × Next Dream
4	2	田中 省己	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D
5	77	松山 北斗	+LenoRacing watanabe
6	11	村上 満	Repair Create × 326power
7	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT
8	18	日比野 哲也	SHIBATIRE RACING
9	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR
10	31	蕎麦切 広大	SHIBATIRE RACING
11	52	北岡 裕輔	TEAM MORI
12	45	Chanatpon Kerdpiam	GOODRIDE × NEXZTER
13	15	植尾 勝浩	VALINO VAZESTRA
14	87	齋藤 太吾	FAT FIVE RACING
15	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-style
16	88	川畑 真人	TEAM TOYO TIRES DRIFT

2023年チームシリーズランキング

Rank.	Team
1	D-MAX RACING TEAM
2	+LenoRacing watanabe
3	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR
4	SHIBATIRE RACING
5	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D
6	TEAM TOYO TIRES DRIFT
7	RS Watanabe SPEED MASTER
8	CAR SHOP GLITTER × Carlife ORANGE × Next Dream
9	TEAM VALINO × N-STYLE
10	Repair Create × 326power
11	FAT FIVE RACING
12	GOODRIDE × NEXZTER
13	VALINO VAZESTRA
14	TEAM MORI
15	Mercury 重楽人 VALINO
16	HIRANO TIRE ★ VALINO RACING

D1 事務局 イベント報告

正式呼称：2023 GRANTURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Round1&2

開催場所：滋賀県・奥伊吹モーターパーク

主催：株式会社サンプロス

競技方式：ドリフト競技

公認：日本自動車連盟（JAF）

参加者数：D1GP 35 台

天候：13日；ウェット 14日；ウェット

延動員数：合計 4,198 名（3日間合計、関係者含む）

次戦；6月24（土）、25日（日）茨城県、筑波サーキット コース 2000